

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	働く女性のIoT・アプリ使用状況と健康課題、プレゼンティーイズムの関係
所属科*	治療就労両立支援センター
研究責任者*	井谷 美幸
研究実施期間	開始 西暦 2025 年 4 月 17 日 ~ 終了 西暦 2027 年 3 月 31 日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	勤労女性 (500 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 年 月 日 ~ 至 西暦 年 月 日
研究概要*	働く女性の健康管理のためのIoTやアプリの活用を明らかにすることを目的とした大規模横断調査の先行文献では、特定の健康問題（月経症状や障害、月経前症候群）を持つ女性はIoTやアプリの使用が少なく、30代40代の女性は健康課題に対処するためにIoTやアプリを利用する可能性が高いことを報告している。さまざまな健康情報をデジタルデバイス使用によって行動変容に結び付けていく現在、実際にどのように情報を整理・記録しているか、健康行動の変容につなげて女性の健康問題に対処しているのかを調査する。また対処することで健康維持し、プレゼンティーイズムの問題や労働力損失を防ぐことに寄与できると考え、プレゼンティーイズムの指標と合わせて調査する。調査の結果、特に女性の健康課題に関するアプリケーションを用いて、女性ホルモンの変化や加齢とうまく付き合いながら仕事ができるようプレゼンティーイズムの改善する方途を探る。デジタルデバイス使用に関する研究としては糖尿病などの疾患に関してはあるが女性の健康課題に関する研究は少ないため、働く女性の健康増進を図るうえで意義がある。
倫理的配慮・個人情報保護の方法について*	対象者に対しては本研究に参加したことで不利益が生じないよう、個人情報や調査結果の全ての情報管理を徹底する。研究対象者に対して本研究の趣旨、匿名性の保持、不同意の場合や同意を撤回した場合も研究対象者は何ら不利益を被ることがないことについ

別紙第 2 号様式

	て WEB 上の調査内容に基づいて十分な説明を行った上で、研究に参加することについて WEB アンケート調査に応えることにより同意を得る。 データはすべて I D で処理することで、特定の個人が同定されないよう配慮した上、データは研究者のみがアクセス可能とし、内容が第三者の目に触れないように、作業方法、作業場所、データ保管方法等を厳重に管理する。
研究の問い合わせ先 *	大阪労災病院 治療就労両立支援センター 保健師 井谷美幸 (PHS4261) Email m.itani@osakah.johas.go.jp

* 記入必須項目